

令和7年度以降の 取り組み内容（素案）について

大島町地域公共交通活性化協議会

令和6年12月20日（金）

令和7年度の取り組み内容(素案)

実施主体	協議会事務局(大島町政策推進課)	協議会構成員
実施内容	・スクールバスと路線バス等の連携方策の検討(スクールバスを活用した交通ネットワークの検討等) ・体系的なモビリティ・マネジメントの実施 ・公共交通モニタの実施 ・各種調査・調整(大島高校直通バスに関する調整、タクシー活用に関する基礎情報整理)	[大島バス] ・バスの乗り方教室の実施 ・大島高校直通バスの運行に関する検討 [タクシー協会] ・タクシーを活用した岡田港以东の移動手段確保に向けた実証実験 [観光協会] ・公共交通利用の促進につながる広報活動 [全構成員共通] ・町内イベント参加時の公共交通の積極的な利用や参加メンバーへの利用呼びかけ
活用財源	・一般財源 ・国補助制度(例)共創モデル実証運行事業(国土交通省)、地域公共交通計画等策定事業(国土交通省)	・各構成員の自主財源 ・関係省庁・団体の補助金・助成金 ※適宜事務局が支援

素案に関して、下記ご意見いただきたい。

- ・各構成員で検討している事業のなかで本計画と連携を図れるもの
- ・取り組み内容に関するご質問・ご意見・ご提案

令和7年度の取り組み内容(素案)

■スクールバスと路線バス等の連携方策の検討

- スクールバス車両と路線バスの連携
⇒スクールバスの回送便(子どもが利用していない便)を活用した移動手段提供
- 実際の利用状況等を把握し、活用の方方向性を検討

■体系的なモビリティ・マネジメントの実施

- バスの乗り方教室をはじめ、公共交通利用促進につながる取組みをパッケージとして整理
※単発イベントではなく、連続性をもった取組みとしての企画

■公共交通モニタの実施

- 公共交通を利用してサービス内容を評価・発信

令和7年度の取り組み内容（素案）

■タクシーを活用した岡田港以東の移動手段確保に向けた実証実験

- バス利用の少ない時間帯をバスではなくタクシーで代替
- 令和7年度の観光閑散期の実証実験実施に向けて調整

■公共交通利用の促進につながる広報活動

- タクシーの相乗り利用での観光周遊
- 電動キックボードと公共交通を組み合わせた周遊のPR

■公共交通の積極的な利用

- 各団体での公共交通の利用を促進
- 協議会メンバーで公共交通を実際に利用する「現地調査」の実施